

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 山梨自然エネルギーの家アスプラスshine

グループの名称 一般社団法人自然エネルギー普及協会

直近採択グループ番号 06-0572-0370

(グループ代表者)

代表者名	白倉 義久	代表者印
代表者所属先	一般社団法人自然エネルギー普及協会	
代表者所在地	山梨県韮崎市藤井町北下條	
代表者電話番号	0551-45-8931	

(グループ事務局)

事務局事業者名	一般社団法人自然エネルギー普及協会 建設部会	
事務局担当者名	平賀 正	印
事務局郵便番号	400-0211	
事務局所在地	山梨県南アルプス市上今諏訪850-1	
事務局電話番号	055-284-8888	
事務局FAX	055-284-8890	
事務局担当者E-mail	hiraga@kinokuni.gr.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0	棟				
				0	m ²				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟		0	m ²	
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	7	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山梨自然エネルギーの家アスプラスshine	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県 長野県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 一般社団法人自然エネルギー普及協会	(結成年) 2011 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0572-0370	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・平成28年度省エネ基準に基づく、省エネルギー住宅を基本とし、自然エネルギーを利用したエネルギー負荷の少ない住宅とする。 ・断熱等性能等級4相当の住宅として、外皮平均熱貫流率(UA値)、平均日射熱取得率(ηA値)の基準値をクリア。 ・一次エネルギー消費量を低減させるために、居室外の照明をLED照明とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・工務店構成員の総意として、金物工法を含む木造軸組工法とする。 ・構造全体の品質を安定化させるために、プレカット加工された木材を使った構造とする。 ・構造躯体には合法木材を基本的に使用するものとし、地域産材を活用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・太陽光発電を搭載しやすいように、母屋は片流れ屋根・招き屋根・切妻屋根とする。 ・同じく屋根勾配を、発電効率が高いとされる3~5寸勾配とする。	○
④①~③の背景	・全国で三位の森林率を持つ山梨県には、ヒノキ・スギの他、マツやカラマツなど樹種も豊富に木材が産出されます。 ・全国一位の年間日照率の山梨県では、太陽光発電の効率も高く、貴重な自然エネルギーとして活用を推進します。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・当自然エネルギー普及協会で開発した、カーポート一体型の太陽光発電も設置を検討しエネルギー自給率を高める。 ・当自然エネルギー普及協会では、異業種の会員を含めて6年間以上、毎月一回例会を開催しています。 ・上記例会の中で、建設部会のテーマとしてグリーン化事業を捉え情報交流を行い、進捗・問題提起・解決を、共有していきます。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材は3.5寸もしくは4寸とし、プレカット加工によって施工品質を向上 主要構造材は、各県地域産材認証もしくは合法木材認証の材とする	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当グループとして高度省エネ型に取り組み3期目となります、共通建材・機器仕様書を作成し、省エネに資する建材と機器グループとしての推奨を行っている。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐力壁は筋交いもしくは、構造用面材を採用し、十分な耐力を確保する。 2階床材は24mm以上の構造用合板もしくは同等の耐力を有する国産材ムクボードを使用し、剛床工法とする。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主に構造用木材共同化に向けて、主に流通状況や価格の変動などの情報を構成員である木の国サイトにて取りまとめる。太陽光発電設備については、自然エネルギー普及協会として代表折衝して共同化を図る	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主に、構造用木材の発注業務を、構成員である木の国サイトに集中させ、調達事務の合理化を進める。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 毎月1回実施している例会において、建設部会としてグリーン化事業の生産状況を報告する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化事業の生産に関する窓口として、事務局と、構成員木の国サイトと共同して担当し、相談・支援を実施していく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱材設置後の躯体でのグループ内見学会及び完成見学会を実施して、基準を確認する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見学会を兼ねて、相互の検査を実施する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅ブランド化事業のモデルを活用して、積算・見積の見本とする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光発電の収益性を顧客に理解してもらうために、構成員のFPが顧客支援への補助として活動いたします。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で、構成員より情報収集を行い、研究課題とする。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で、構成員より情報収集を行い、研究課題とする。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で、構成員より情報収集を行い、研究課題とする。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を窓口として、安全管理委員会を設置し、共同で安全管理、健康管理推進を、研究課題とする	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・毎月開催される山梨自然エネルギー普及に関する例会に、建設部会以外へ年間5回以上参加し情報共有する	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山梨自然エネルギーの家アスプラスshine	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県 長野県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人自然エネルギー普及協会	(結成年) 2011 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0572-0370			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 個人情報保護の観点もあり、単純なリストとして事務局で保管する	◎	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店構成員住宅履歴情報サービス機関利用を前提とする	◎	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局でリストを作成し保管する。(サービス機関名・施主No・工務店名)	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム部会で、点検の共通ルール研究、作成。	○	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム部会で、補修の共通ルール研究、作成。	○	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム部会で、研究、確認手法の確立を目標とする。	○	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月1回開催される例会の勉強会において、共通の管理手法を確立する。	○	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の木の国サイト情報館において、子供木工教室の開催。	○	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の木の国サイト情報館において、相談会の実施。	◎	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会は、リフォーム部会が担当する	○		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月1回開催される例会で、より良い維持管理の手法を研究していく	○		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 近接している工務店構成員によるバックアップを前提、OB客の住宅管理を行う。	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 例会において、勉強会を実施していく。	○	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・太陽光発電については、自然エネルギー普及協会として実績データを蓄積してエネルギー貢献度の評価を行う。		○
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局、経験企業がフォローを実施する。	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局中心となり、建設部会にて研究する	○		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、建設部会で研究する。	◎		
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、建設部会で研究する。	○		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型の技術力向上のため、省エネ住宅の研修会を年に1回以上開催する	◎		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、建設部会で研究する。	○		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 17 今年度の参加目標人数 5	○	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 3		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて講習会開催開催情報を入手して都度未経験者に連絡し受講を勧める。		◎		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: カーポート一体型の太陽光発電として、自然エネルギー普及協会にて特許を取得。	○		
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自然エネルギー普及協会において、オフグリッドハウスの研究開発を行っている。	◎		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山梨自然エネルギーの家アスプラスshine	(地域型住宅供給対象地域) 山梨県 長野県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 一般社団法人自然エネルギー普及協会	(結成年) 2011年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0572-0370													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	各地域県産材認証センターによる、原木・製材・流通・プレカットの1~4次管理票を発行しながら認証されていること。 イブリッドビームは杉・米松の異樹種集成材の為、材積の50%を地域材とする。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない ■ 使用している		柱: □ 使用していない ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している
主要構造材	土台: □ 使用していない ■ 使用している													
	柱: □ 使用していない ■ 使用している													
	梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している													
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 山梨県産材は、各製材メーカーの在庫を、木の国サイトにて把握する												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 山梨県産材は、木の国サイト及び施工業者が統一価格情報を共有する												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 白玉石、西嶋和紙などの素材を利用する、雨水利用のためのワイン樽の再利用												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 遠景の中に、太陽光の屋根が並ぶことを、新しい伝統的な意匠としたい。												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 国及び県指定文化財建築の、現地研修を開催する。												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 豊かな水と太陽、自然に恵まれた山梨の環境を守り育てる人材を育成したい。												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 自然に恵まれた山梨に、自然エネルギー住宅の里づくりを推進します。												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 甲斐の和紙が活用できるよう、西嶋和紙の現地研修を開催する												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組														
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 山梨自然エネルギーの家アスプラスshine	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 山梨県 長野県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 一般社団法人自然エネルギー普及協会	<small>(結成年)</small> 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0572-0370	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>「山梨自然エネルギーの家アスプラスshine」の高度省エネ型住宅の仕様</p> <p>平成28年基準に基づき、且つZEH外皮基準を達成する。 暖冷房は高効率エアコンを中心に検討する。 居室外の照明はLEDを採用する。 高効率給湯器を採用する。 節水型トイレを採用する。 太陽光発電の効率を考慮して屋根の形式(片流れ、招き、切妻、)を規定する。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。